

# 平成28年度 学校評価実施報告書

## 2 2回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
分野	評価項目	(1回目評価を踏まえた)年度末までの取組	(取組結果を検証する)アンケート項目・各種指標
確かな学力	授業改善	・学習確認プログラムの結果分析と研修会の実施 ・授業研究を年間5回実施 ・公開授業週間を年間2回設定	・「教科の授業がよく分かる」(アンケート項目) ・学習確認プログラムの結果 ・生徒の話す・聞く態度の変容
	家庭学習の習慣化	・週末課題の設定(定期的なワークシートの配布と点検) ・学年・学級により異なる啓発活動	・週末課題の達成状況 ・「平日は授業以外に平均何時間勉強していますか」(アンケート項目)
	コミュニケーション能力の育成	・すべての教科でグループ活動を取り入れ、他者との意見交流を中心とした言語活動の充実を図る	・「他の話を聞く」・「自ら進んで発言する」(アンケート項目) ・生徒の話す・聞く態度の変容
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成	・全校一斉クリーンディを年3回実施 ・保護者・地域とのクリーンキャンペーンの実施	・「学校行事や学級の取り組みに積極的に参加していますか」・「きまりをしっかり守っていますか」(アンケート項目)
	豊かな心の育成	・道徳年間授業計画に沿った指導、および「大枝つながりプログラム」の実施	・「いじめを許さない仲間づくりができていますか」・「自分や人を大切にしていますか」(アンケート項目)
健やかな体	自他を大切にできる態度の育成	・基本的生活習慣の確立に向け、早寝・早起き・朝ごはんの呼びかけをおこなう	・「規則正しい生活ができていますか」・「ベル着を守るなど時間を大切にしていますか」(アンケート項目)
	体力の向上	・運動を通じて体力を増進することを目指して、球技大会や体育行事への積極的な参加を呼び掛ける	・体力調査の結果
独自の項目	開かれた学校づくり	・継続的なホームページの更新 ・PTAや地域に対する情報発信(各種たよりや広報物)	・学校ホームページへのアクセス数の推移 ・「学校の様子がよく分かる」(アンケート項目)



・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成29年2月27日
	評価者・組織	企画委員会
アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	分析を踏まえた改善策
・「教科の授業がよく分かる」は、H28前期81Pから87Pへと+6P向上。 ・学習確認プログラムの結果は1年生がBasicでJPより+2P向上し、全体的にも高い結果。 ・「家庭学習の習慣が身についていますか」については、3年生に比べて、1,2年生のポイントが15～20Pほど低い。	・アンケート結果は教科によって若干の差が見られる。 ・学Pでも教科による差があり、全学年とも数学・英語が高いものの、2年生では理科の学力向上が課題。 ・本校の大きな課題である。今年初めて「家庭学習アンケート」を実施。通塾率が高い反面、塾以外での家庭学習が十分定着していないことが伺える。	・全校での「授業の目当て」と「本時の振り返り」の徹底。 ・学P結果分析から課題を明確にし指導改善を図る。 ・学習課題の提示方法の工夫。 ・家庭学習課題の設定(定期的なワークシートの配布等)を、学年として計画的におこなうとともに、点検を徹底する。
・「自らすすんであいさつをしている」は93%、「相談できる友人がいる」は97%。 ・どの教科においても、活発な意見交流が行われている。	・これまで継続してきた「学びの共同体」指導の実践とともに、学級活動の見直しの成果と思われるが、「他の話を聴く力」には課題が見られる。	・1年生で「学びの共同体」の見直しをおこない、ベアワークの充実を図ったことを、次年度は他学年でも継続しておこなっていく。
・「学校の約束事や決まりごとを守る」は97Pで、H28前期に+3Pと向上。 ・「学校行事などへの積極的な参加」は90pと向上している。	・「学校行事や学級の取り組みに積極的に参加している」は昨年の同時期の79Pに比べて、大幅に向上している。	・生徒会活動の充実をさらに図るとともに、委員会活動や学級での係活動を学年間で共有化していく。特に「清掃活動」で新たなシステムを導入予定。
・「人を大切にしている」は98PでH27後期に比べて+4P。「いじめを許さない仲間づくりができていますか」は98PでH27後期に比べて+7P。	・生徒会活動を中核とした「いじめ0」の取り組み、各学級での人間関係づくりが着実に成果をあげている。一方で、クラマネ分析と活用課題がある。	・生徒会の取り組みを今後も継続していくとともに、ソーシャルスキル向上を目指した「つながりプロジェクト」を確実に実施していく。
・「規則正しい生活ができていますか」は93Pで、昨年の同時期に比べて+9P。 ・「自分を大切にしている」は96Pとなり、自己肯定感の向上が見られる。	・「ベル着を守るなど時間を大切にしている」は93PでH27後期と比べて+2P。全体として落ち着いた学校生活を送れているが、一部の生徒に課題が見られる。	・全校体制での「朝の登校指導」を今後も継続する。保健室とも連携し、基本的生活習慣が身につくように生徒への個別指導を推進する。
・球技大会や体育行事への積極的な参加が見られる。 ・体力調査の結果はおおむね良好。	・グラウンドや体育施設に恵まれ、体育的行事や部活動の充実によって、体力の向上が図れていると考えられる。	・行事の精選とともに、生徒会を中心とした、生徒の自主的な企画、運営による体育行事を実施し、縦割り活動の中で、意識の向上を図る。
・「学校の様子がよく分かる」は保護者アンケートの結果が98Pと非常に高く、H27後期とくらべて6P向上している。	・学校ホームページへのアクセス数の推移は、3月7日現在で68,905と着実に伸びている。	・学校だよりや学年だよりの充実とともに、今後はPTAや地域への広報ツールをさらに拡充していく。



学校関係者評価	
評価日	平成29年2月28日
評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
・生徒が教員に対して、気軽に問われる関係づくりがすすんできている。 ・学校だけではなく、家庭においても学習に対する意識づけをすすめていく。	・授業参観や公開授業、休日参観等の学校行事に際して感じたことを伝え、授業改善に向けた助言を行っていく。
・家庭での環境整備が、学習習慣に影響を与えることもある。 ・家庭学習については、家庭での声かけや働きかけも効果的である。	・PTA活動や地生連での取り組みを通して、学習習慣が身につく環境づくりに必要な手立てを、学校と協力して各家庭に呼び掛ける。
・地域で出会った際に、大枝中学校の生徒が元気にあいさつをしてくれることがうれしい。	・外部講師による授業をさらに充実させるため、部活動や課外活動においてのプログラムづくりに協力する。
・中学校3年生が保育園での交流学习をすることで、園児との関わりからあたたかく豊かな心が育まれているのでは。	・交流学习や外部講師による実習授業など、さまざまな学習機会を生み出すため、地域として生徒を積極的に受け入れていく。
・縦割りグループの活動は、有効であると感じる。体育祭での縦割り種目だけではなく、縦割り清掃などの活動を増やしてはどうか。	・地域での様々な活動への生徒参加を促し、大人も交えた活動を通して、人とのつながる場面を増やしていく。
・保護者との連絡を密に取り、家庭生活の改善・基本的生活習慣の確立に協力してもらうことが重要。	・多くの方々に、家庭教育学級等に参加してもらえよう。地域や保護者に積極的な呼びかけを行い、保護者啓発を行う。
・本校ならではの恵まれた施設環境を有効に活用し、部活動も含めて体力増進に努めてほしい。	・区民運動会や夏祭りなど、地域行事へ生徒が積極的に参加するように取り組みをおこなう。
・これまで学校で取り組んでいる新たな取り組みや成果を、さらにPTAや地域に発信することが重要である。休日参観の内容等にも工夫を。	・学校から発信された内容を受け、地域としてどのような支援ができるかを具体的に考え、助言していく。

## 3 総括・次年度の課題

<p>現状において様々な課題は見られるが、上記の学校評価をもとに次年度の主な重点課題として、以下の3点をあげたい。</p> <p>①学力向上に向け、小中が連携して授業での「本時の目当て」の提示や「振り返り」を徹底するとともに、本校の課題である家庭学習の習慣化に向け、研究部が中心となり継続的に取り組む。</p> <p>②重要な課題である「いじめ」等を未然予防するために、「つながりプロジェクト」を核として、早期に発見・迅速な対応ができる学年や学校の体制づくりを、生徒指導部を中心としておこなう。</p> <p>③本校生徒の自尊感情の高揚、自己有用感を涵養するために、生徒会活動を中核とした様々な体験活動を実践するとともに、学級経営を基盤とした人間関係づくりを学校総体としておこなっていく。</p>
--